

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立大谷台小学校

校長 今村 孝之

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

「自主」「協働」「責任」をもとにした学校づくりビジョン「豊かな心と健やかな体で、主体的に学び合う子どもの育成」の達成に向けて、家庭・地域との協働と教職員の資質能力の向上を周知して取組を進めます。

そのために、次の3点を重点項目として取り組みます。

- ①地域の皆さんから学び、学習意欲の向上と実生活に役立つ取組
- ②子どもたちの安全・安心を守るため、学習環境の整備や防犯・防災の取組
- ③学校・地域が協働した取組

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①クラブ活動（茶道クラブ・大正琴クラブ・EMクラブ）



クラブ活動では、今年度も「茶道クラブ・大正琴クラブ・EMクラブ」で地域の方をゲストティーチャーとして招きました。子どもたちは、それぞれのクラブにおいて専門的な指導を受け、興味を持って

意欲的に活動しました。新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、「茶道クラブ」は和室ではなく、広い教室で実施しました。「大正琴クラブ」は課題曲に取り組んだり、「EMクラブ」は近くの池の浄化活動に取り組んだりしました。

②堀川浄化活動

P T Aが中心となり、認定N P O法人「地域環境共生ネットワーク」の協力を得て、今年度も4年生の子どもたちが校区内を流れる堀川の浄化活動に取り組みました。河川浄化に効果があるEM菌を各家庭で作製し、堀川へ投入しました。社会科で学習した内容とも関連付けながら、環境学習としても取り組むことができました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

①子ども見守り隊



毎日、子どもたちの登下校の様子を見守りながら、安全面での支援をしていただきました。特に、1年生の下校時刻に合わせて学校まで迎えに来たり、横断歩道などの危険箇所にて安全確保をしたりするなど、子どもたちを見守っていただきました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、「6年生を送る会」を見に来ていただくことはできませんでしたが、お礼のメッセージをお渡ししました。

②校内環境整備

今年度もCS委員の呼びかけにより、地区自治会が中心となって校内の草刈りを実施しました。8月の厳しい暑さの中、約20名もの方に協力をしていただき、校内環境整備を進めました。今年度は例年開催されていた行事がいくつか中止になり、かなり活動が制限された中ではありましたが、そのような中でも学校・保護者・地域住民の連携や協力により、子どもたちの学習環境がしっかりと整えられ安心・安全な学校生活を送ることができました。



3 今後に向けて

このように地域協力者の温かい支援を受けて、本校の教育活動は多様に展開されています。今後も、学校が中心となりながらも、家庭・地域との連携をさらに深め、子どもたちの健全な育成を目指して、共通理解を図りながら取り組みたいと考えています。



本校の四日市版コミュニティスクールは発足4年目となりました。今年度も、地域の方々が教育活動に参加していただける機会が大幅の減ったと同時にコミュニティスクール運営協議会の開催も限られた回数となってしまいました。そのような中、コミュニティスクール運営協議会として、学校づくりビジョン推進に向けての取り組みに可能な限り取り組み、地域・保護者・学校が一体となって子どもたちを育てていく環境づくりに尽力してきました。今後も学校づくりビジョンに示す「めざす子どもの姿」を地域の方々と共有し、「チーム大谷台小学校」としてビジョン実現に向けた取り組みを推進していきたいと思えます。